

「会長メッセージ」

2025-26年度
白河西ロータリークラブ
会長 藤田 龍文



【2025-26年度RCテーマ】

「UNITE FOR GOOD よいことのために手を取りあおう」

【基本方針】

2025-26年度RI会長はイタリア・ラゲザロータリークラブ（イタリア）会員のフランチェスコ・アレツォ氏が指名されました。

「ロータリーの最大の財産は、その歴史でも、プロジェクトでも、比類のない世界的広がりでもなく、会員である」と強調し「地球上で最も有能なボランティアチーム」をさらに拡大することの重要性を訴えました。そして、成長、奉仕、つながりを大切に「革新」「継続性」「パートナーシップ」の3つを成長の柱として掲げ、ロータリーが進むべき方向性を示されました。

クラブの老齢化を防ぐ唯一の策は絶えず新会員を迎え入れることです。クラブは成長するか衰退するかのいずれかであり、安定した会員基盤などありません。

私たちは会員の勧誘と維持を、世代から世代へと受け継がれる中核的価値観としなければなりません。そうすることで、ロータリーが今後も何十年にわたって活気とインパクトを維持できるのです。ロータリー会員は行動する人々です。私たちは変化が起こるのを待つのではなく、自ら変化を起こします。行動する人々はよいことのために手を取りあいます。これが2025-26年度RI会長メッセージです。

2025-26年度2530地区ガバナー・浪江ロータリークラブ会員の泉田征慶氏は東日本大震災から15年を経てもメンバーの生活拠点がテリトリーない中、県内外居住のクラブメンバー・地区出向メンバーの力を集結させ地区運営をされます。

地区事業方針として以下を掲げました。

- ・ロータリーの理解を深める活動
- ・公共イメージの向上
- ・充実した例会実施のための支援

本年度はRI方針としてクラブと地区で独自のテーマやメッセージを決めずにロータリー全体で統一するので、クラブ目標もRIに準じて「UNITE FOR GOOD よいことのために手を取りあおう」と致します。

本年度は白河西ロータリークラブの創立40周年を迎えます。昭和61年4月12日のクラブ創立記念日から受け継がれてきた伝統を絶やすことなく確実に成長させて次年度に引き継ぐ年度と思っております。また、次年度は白河西ロータリークラブ初の金田昇会員がガバナー輩出する年度となり本年度より全面バックアップする所存であります。

【重点目標】

1、会員増強

- ・会員増強は手法でありロータリーの目的ではありませんが、ロータリーの活動を発展させ継承し、クラブの存続意義と更なる発展のために大変重要なので実践をする。
- ・新会員が入会する、会員が退会しないことがクラブ内が活性化するので実践する。

2、例会出席率向上

- ・「規則的例会出席の原則」則り例会の重要性を浸透させる。参加したくなる例会の工夫を行う。

3、会員相互・その家族親睦の新たな環境づくり

- ・ホームミーティングの充実・家族親睦・愛好会活動などへの積極的参加を促し、さらなる親睦を図る。

4、公共イメージ向上

- ・事業を通じて広くロータリー活動を認識して頂ける事業展開をします。

5、40周年記念式典・懇親会・記念誌・記念事業

- ・創立以来お世話になった方々に40周年の感謝の気持ちを記憶と記録で伝える。

6、ガバナー輩出に向けて環境づくり

- ・2026-27年度からの金田ガバナー年度全面支援に向けて、地区運営に向けて多くのメンバーが出向をし、メンバー全員で各種事業に積極的参加をします。



左から金田昇ガバナーエレクト、藤田龍文会長、運天直人幹事